

液化酸素タンク(CE)仕様書

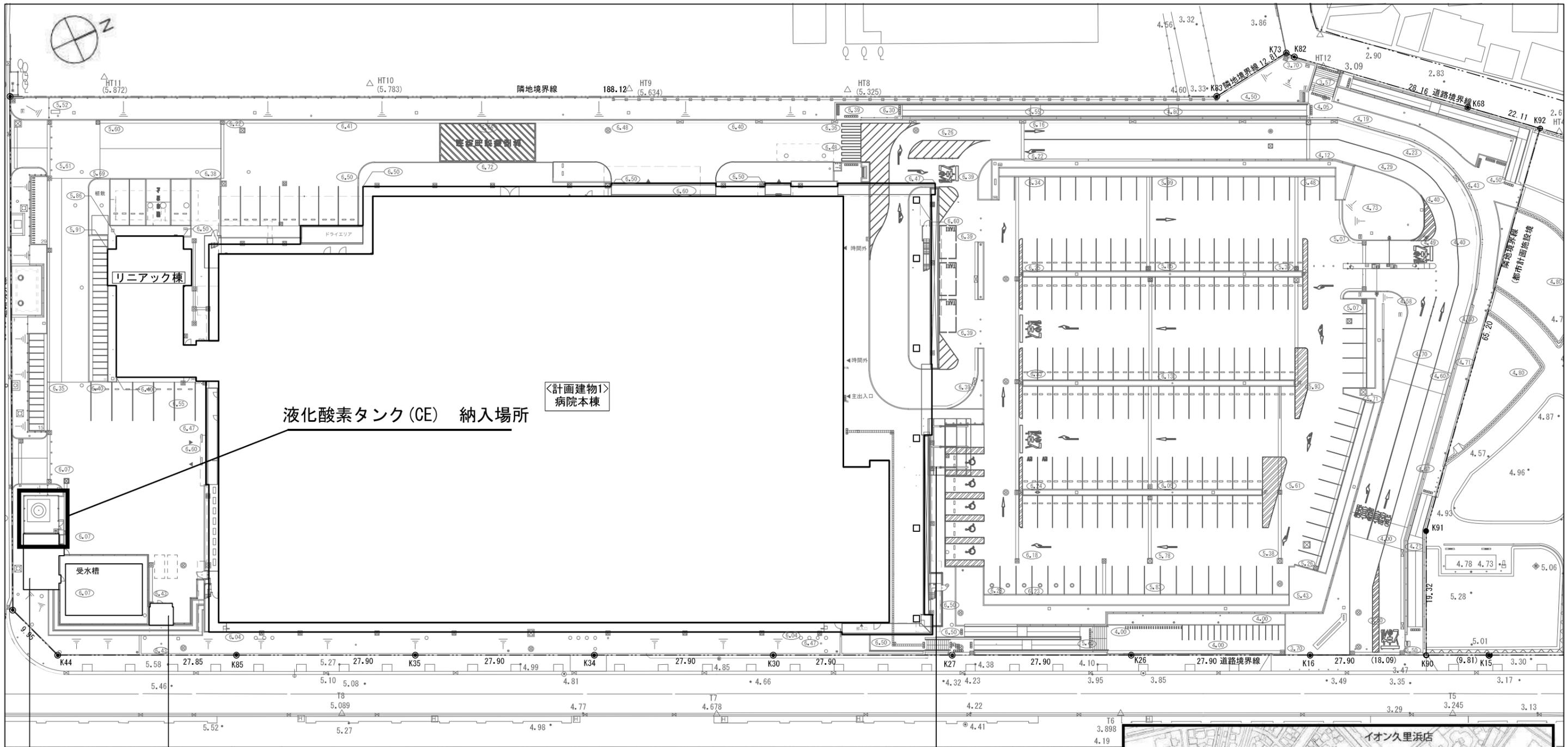
1	物件名称	液化酸素タンク(CE)
2	品質・形状・寸法 又は型式	別紙「詳細仕様書」のとおり
3	グリーン物品 の指定	指定しない
4	数 量 (単価契約の場合 は予定数量)	別紙「詳細仕様書」のとおり
5	納入期限	令和6年(2024年)10月31日
6	納入場所	横須賀市神明町1番8 (横須賀市新市立病院建設工事建設工事現場内【別添資料参照】)
7	特記事項	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 液化酸素タンク、配管及びそれらの基礎は、平成30年経済産業省告示第220号「高圧ガス設備等の耐震性能を定める告示」に基づく耐震設計を行い、製造を行ったものとする。</li><li>2. 液化酸素タンクの基礎は横須賀市新市立病院建設工事の施工者である大成・堀・宇内特定建設工事共同企業体(以下「工事施工者」という。)が建設するものとする。</li><li>3. 供給者は令和6年4月15日までに工事施工者へ液化酸素タンク(CE)設備の荷重条件等、工事施工者が基礎及び送気配管の施工等に必要な諸条件を伝達すること。</li><li>4. 供給者は施工者と打合せを行った上で令和6年8月に前述の基礎に液化酸素タンク(CE)設備を設置すること。(設置場所の詳細については別紙参照。)なお、設置のために必要なアンカーを工事施工者に支給すること。</li><li>5. 供給者は注文者に代わり、納入する物件に関わる高圧ガス保安法(昭和26年法律第204号)第5条第2項に基づく届出、第16条第1項に基づく許可申請、第20条第1項に基づく検査、第24条の2第1項に基づく届出の手続き、その他納入する物件を使用するに際し必要な手続きを行うこと。</li><li>6. 5の手続きに必要な物品及び費用については供給者が負担すること。</li><li>7. 5の手続きにおいて工事施工者等が施行する部分に関しても供給者が取りまとめ、手続きを行うこと。</li><li>8. 工事施工者の工程の進捗に合わせ、クールダウンを行うこと。 また、クールダウンに必要なガスを提供すること。</li><li>9. 8の手続きの完了をもって物件が納入されたものとみなす。</li><li>10. 工事施工者が定置する足場、作業構台等を供給者は無償で使用することができない。</li></ol>
8	契約方法	総価契約
9	支払方法	納入後、一括払い
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	連絡先	民生局健康部市立病院課 原口 電話 046-822-9991

指示事項

グリーン物品	上記で指定がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品を選定し、納品すること。 方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照すること。
--------	---

## 詳細仕様書

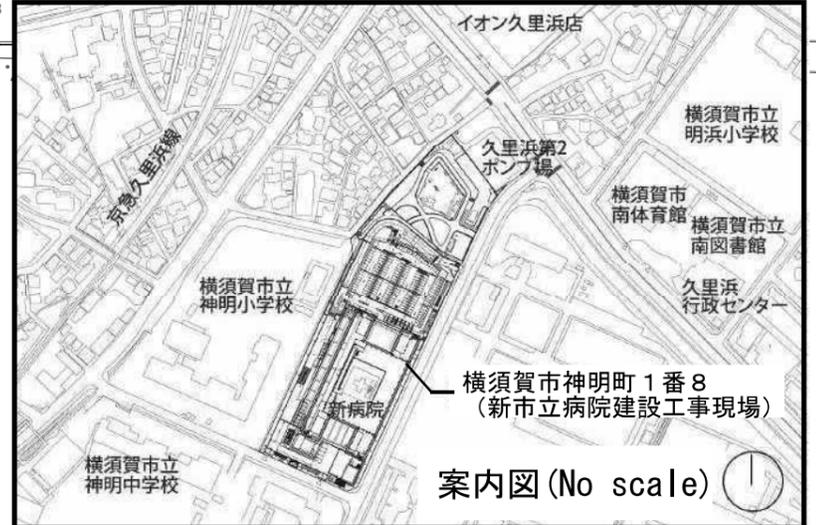
No.	物件名	品質・形状・寸法 又は型式	グリーン物 品指定の有 無	単位	数 量
1	液化酸素タンク	・高圧ガス保安法 特定設備検査規則 第二種特定設備、内容量9,700L、メーカー標準品、設計用水平震度 0.3G相当、耐塩塗装仕様、下記物件と接続する配管類を含む ・1階防災センターの医療ガス供給モニタに「供給元圧力、供給元圧力異常、容器残量、補充警報、容器内圧力」を表示するための情報出力発信機を含む	無	基	1
2	緊急遮断弁ユニット	操作盤含	無	式	1
3	緊急遮断弁用操作バルブ		無	個	1
4	緊急遮断弁用マニホールド	1本立	無	個	1
5	蒸発器	空温式、蒸発能力200Nm <sup>3</sup> /h程度、架台が必要な場合は架台を含む	無	式	1
6	減圧弁	吸入用・高気圧用2系統	無	個	1
7	液酸充填用電源盤		無	面	1
8	保安機器収納ボックス	耐塩塗装仕様、保安機器が収納できるサイズのもの	無	個	1
9	保安機器	粉末消火器(B-10)3本、携帯電灯(防水型)2個、携帯用拡声器2個、予備電池(携帯電灯及び携帯用拡声器用)	無	式	1
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					



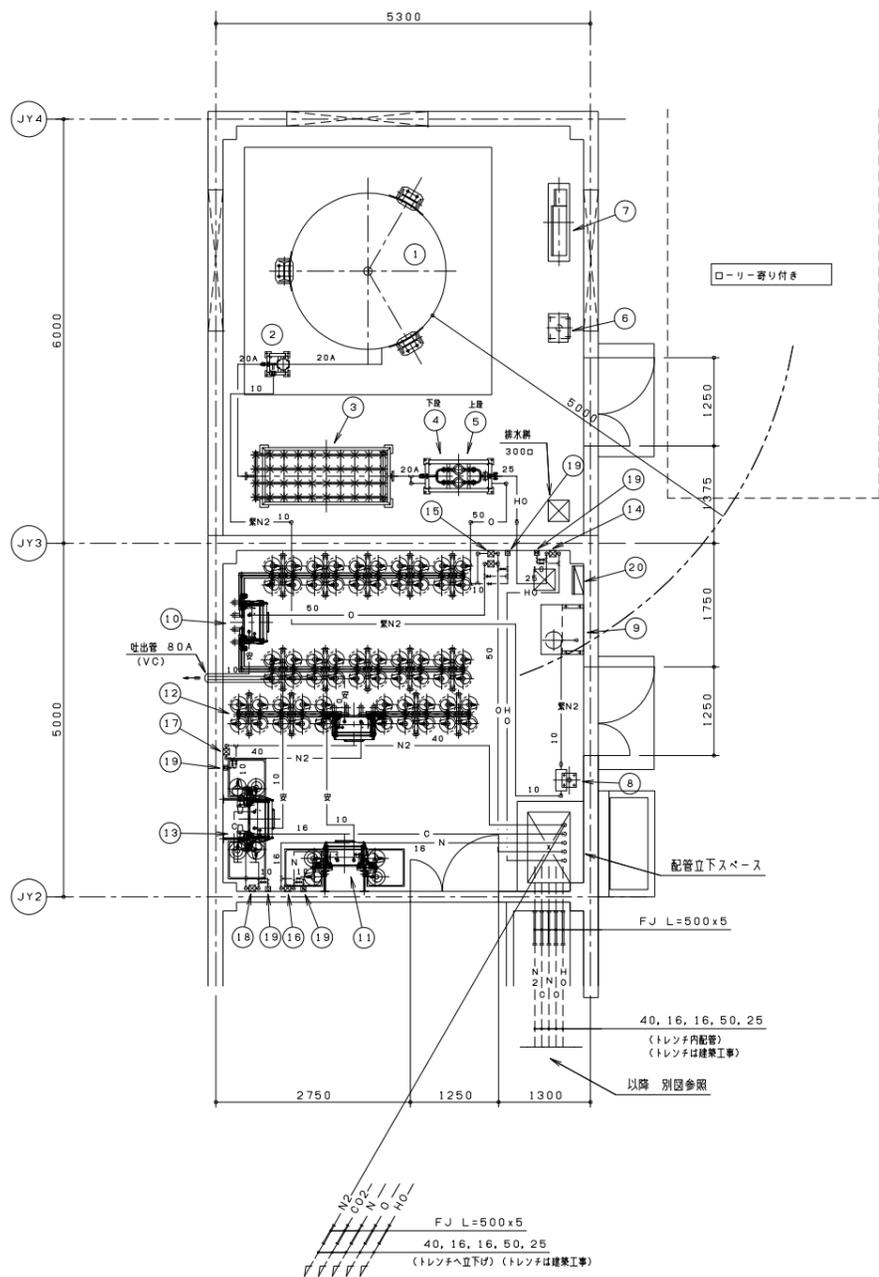
<計画建物2>  
付属建物棟1  
マニホール室・  
受水槽  
ポンプ室

<計画建物4>  
付属建物棟3  
廃棄物保管庫

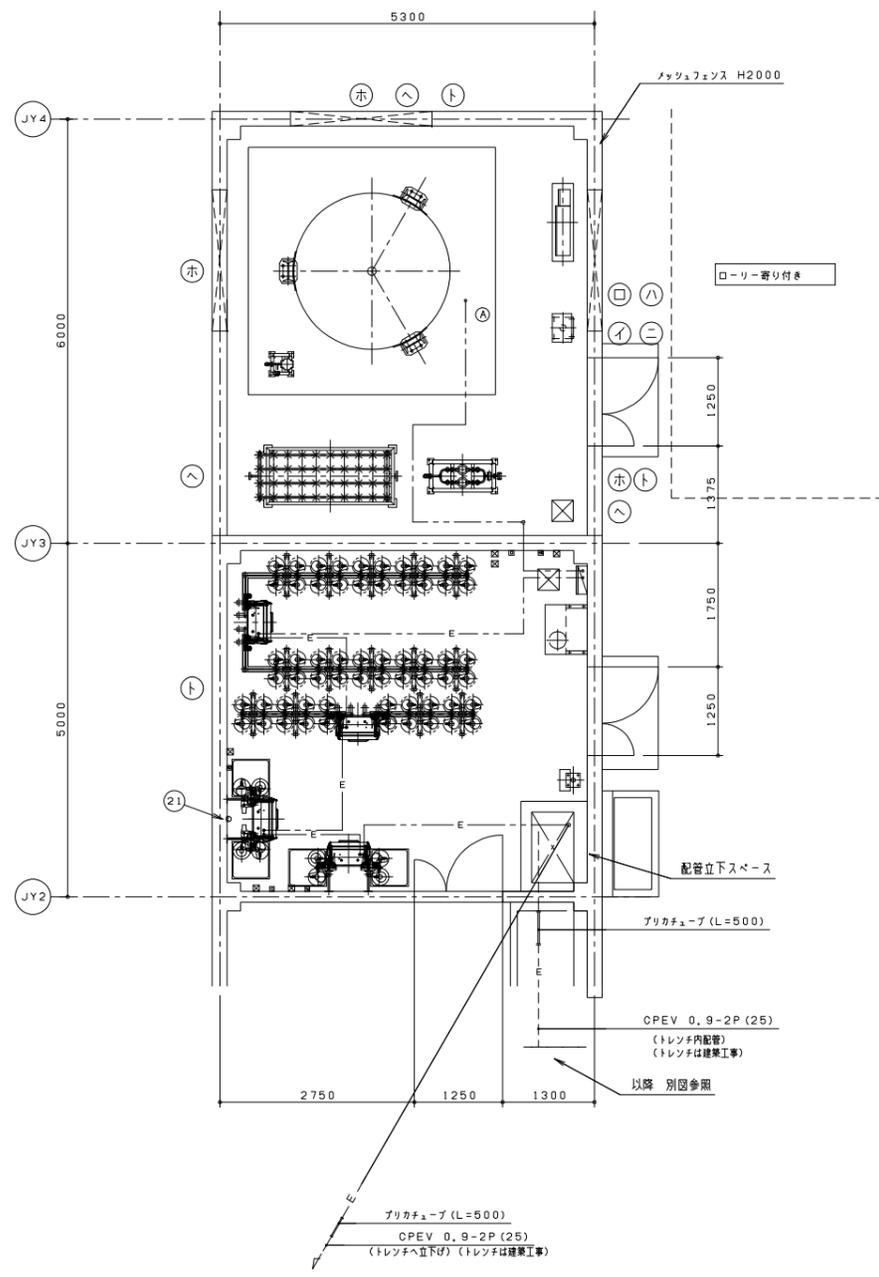
<計画建物3>  
付属建物棟2  
車椅子駐車場屋根



図面名：液化酸素タンク (CE) 配置図  
縮尺：1/600 (A3)

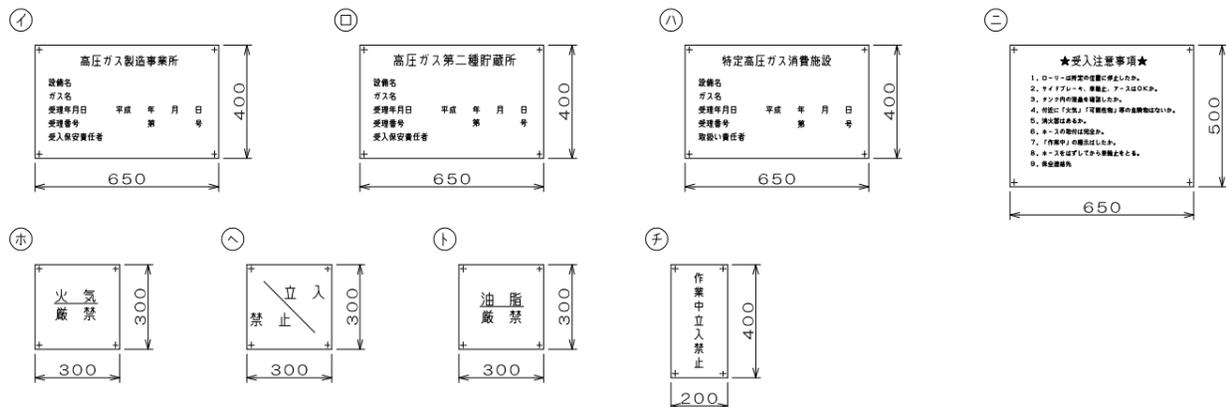


医療ガス 液酸タンク・マニホールド室図 S=1/50



結線図 S=1/50

法定表示板



注記事項

- ・イ、ロ、ハ、ニ：文字 - 黒色 地肌 - 白地
- ・チ：文字 - 赤色 地肌 - 白地
- ・ホ 火気厳禁：文字 - 白色 地肌 - 赤色
- ・ハ 立入禁止：文字 - 黒色 地肌 - 白色
- ・ト 油脂禁止：文字 - 白色 地肌 - 赤色 緑 - 白地

※ チは、液酸タンク置場で保管し液酸化素充填時に使用

機器リスト

記号	名称	数量	仕様	備考
1	液酸タンク	1	内容積 9700L	高圧ガス保安法第3条、メーカー標準品 設計用水平露度 0.3G相当 耐塩塗装仕様
2	緊急遮断弁ユニット	1		
3	蒸発器	1	200Nm <sup>3</sup> /H	
4	高圧液未用減圧弁装置	1	バイパスライン付	
5	液未用減圧弁装置	1	バイパスライン付	
6	液酸充填用電源盤	1		GAC 200V 3φ 15kVA (1次側引込電気工事) 耐塩塗装仕様
7	保安機器ボックス	1	能力単位B-10 粉末消火器3本 携帯用電灯、ハンドマイク、予備電池等	収納ボックス入り 耐塩塗装仕様
8	緊急遮断弁用操作バルブ	1		
9	緊急遮断弁用マニホールド	1	1本立	
10	予備液未マニホールド	1	全自動切換式 2列40本立	(ボンベ別途) GAC 100V 1φ 5A (1次側引込電気工事)
11	笑気マニホールド	1	全自動切換式 2列4本立 (荷重交換器付)	(ボンベ別途) GAC 100V 1φ 5A (1次側引込電気工事)
12	窒素マニホールド	1	全自動切換式 2列20本立	(ボンベ別途) GAC 100V 1φ 5A (1次側引込電気工事)
13	炭酸ガスマニホールド	1	全自動切換式 2列4本立 (荷重交換器付)	(ボンベ別途) GAC 100V 1φ 5A (1次側引込電気工事)
14	高圧液素メインシャットオフバルブ	1	露出型 25φ	
15	液素メインシャットオフバルブ	2	露出型 50φ	
16	笑気メインシャットオフバルブ	1	露出型 16φ	
17	窒素メインシャットオフバルブ	1	露出型 40φ	
18	炭酸ガスメインシャットオフバルブ	1	露出型 16φ	
19	保守点検用アウトレット	5	HO, O, N, N2, CO2 x各1個	
20	液酸トランスデューサ	1	液酸警報用	GAC 100V 1φ 5A (1次側引込電気工事)
21	抜け止めダブルコンセント	(1)	加温器用	(電気工事)

電線及び電管リスト

記号	配線及び配管
A	CVVS 1.250-2C (25) x 3
E	CPEV 0.9-2P (25)

注記： 屋外電管は、厚鋼とする。

注意事項

1. マニホールド室の屋根は軽量な材質とする。
2. タンクローリ-停車位置は、タンク正面近くとし、コンクリート舗装とする。
3. ボンベを10〜35℃以下を保つため、マニホールド室内は直射日光をさえぎる構造とする。
4. マニホールド室内は腐食性ガスを含まない環境とし、有機溶剤などその他有害な物質がないこと。
5. マニホールド室は通風を確保するため、床面積の3%以上の開口を2方向にとること。(扉ガバリ等)
6. 液酸タンク基礎は、高圧ガス保安法により決定する。

建築工事  
建築工事  
建築工事  
建築工事  
建築工事  
建築工事

本体工事の工事区分

- ・屋外マニホールド室(H=2500以上)
- ・屋外マニホールド室、搬入搬出用扉有効1200以上、スロープ付
- ・液酸タンク置場、液酸タンク基礎、マニホールド室
- ・ローリ-停車場、コンクリート舗装、停車位置表示
- ・トレンチ
- ・液酸タンク置場、マニホールド室等室内照明
- ・各機器への一次側GAC電線引込及び接続
- ・液酸タンク置場内散水栓
- ・保安機器ボックス
- ・消火器
- ・非常用通報設備(ハンドマイク、携帯用電灯、予備電池等)

建築工事  
建築工事  
建築工事  
建築工事  
電気工事  
電気工事  
衛生工事  
備品工事  
備品工事  
備品工事

図面名：液酸化素タンク(CE) 参考図  
縮尺：1/100(A3)